

# NRSグループのDX戦略

作成日 2023年07月  
NRS株式会社



# はじめに

NRS株式会社は1946年の創業以来、安全と法令遵守を基本に据え、化学品の重要なサプライチェーンの一角を支えてきました。

当社は、デジタルトランスフォーメーションを『ヒト中心』で推進します。

物流とデジタルを組み合わせ、化学品サプライチェーンマネジメントに関わる全ての皆様のプロセスをより便利で高度かつ効率的なものにすることを目指しています。多様化、複雑化するサプライチェーンに対応するため、デジタルツールやシステムを活用して物流プロセス全体を見直し、データ活用を通じて課題や改善点を特定し、効果的な解決策を提案します。

このようなアプローチにより、当社は、お客様と共に最適なサプライチェーンマネジメントを追求し、高品質で効率的な物流サービスを提供します。さらに、人工知能やロボティクスなどの先進技術を導入することで、物流に関わる様々な作業の自動化を実現します。

そのために、人材育成とテクノロジーへの投資を強化し、従来の方法にとらわれず変革を進め、絶えず学び続けます。

NRS株式会社は、デジタルトランスフォーメーションの取り組みを通じて、化学品物流に今ない価値を創り続けます。



代表取締役社長 戸木眞吾

## DXビジョン

# デジタルを使いプロセスを見直し、データの活用を通じて 「ケミカル物流に今ない価値を創る」

### 戦略1 徹底した生産性の向上

デジタル技術を活用することで、プロセスを自動化・効率化し、生産性を向上させることができます。

具体的に、以下の取り組みを進めます。

- 物流現場の情報活用（物流センター機械照合、ドライバータブレット等）
- 事業を跨いでフローをデータで繋げる

### 戦略2 ケミカル物流を変革

デジタル技術を活用することで、ケミカル物流をもっと便利に効率的にすることを目指します。

具体的に、以下の取り組みを進めます。

- 危険品倉庫空き情報シェアプラットフォーム
- タンクコンテナシェアリングシステム

### 戦略3 顧客に新たな価値提供

デジタル技術を活用することで、顧客に新たな価値を提供することができます。具体的に、以下の取り組みを進めます。

- サプライチェーンの可視化ツールの提供（X-Track）
- 物流センター在庫可視化ツールの提供
- Webオーダーの拡大

### 戦略4 DX人材育成

デジタル技術を活用するためには、DX人材の育成が重要です。当社は、デジタル技術を活用できる人材を育成するため、以下の取り組みを進めます。

- 社内研修の実施
- 外部講師の招聘
- 社員のデジタルスキルアップ支援

## DXを推進する必要性と背景

### お客様のニーズの多様化

- お客様のニーズは製品の種類や用途に応じて多様化が進んでいます。これらのニーズに対応するために、DXを推進する必要があります。
- 例えば、新物流システムの導入やデジタルサービスの強化を進めています。デジタルサービスを通じて、溜まったデータを活用に、お客様により効率的で高品質な物流サービスに繋げていきます。

### サプライチェーンのグローバル化

- お客様のサプライチェーンのグローバル化が進むにつれて、貨物のリアルタイムのトレーシングや、物流容器の可視化が必要になります。
- NRSでは、X-Trackというソフトウェアの提供を開始し、物流とソフトウェアの組み合わせで、より便利な物流サービスを提供します。

### 人手不足が深刻化している

- 物流業界は、人手不足が深刻化が予想されています。これは、少子高齢化や労働力人口の減少により、物流業界で働く人材が不足していることが原因です。そのため、当社では、DXを推進することで、人手不足を補い、業務の効率化を計り、安定した物流サービスを継続的に提供します。

## 現状の課題と問題点の分析

### 課題1 セキュリティ強化

- デジタル化が進めば進むほど、ITセキュリティ強化の重要度は高まります。
- ランサムウェアを始めとするサイバー攻撃リスクに対して、NRSではISMSを取得し、組織的、継続的な対応を行っています。

### 課題2 人材の育成

- DXを推進するためには、ITを活用できる人材が必要です。しかし、物流業界では、ITを活用できる人材が不足しています。
- そのため、DXを推進するためには、人材の育成が重要で、全社員がDX人材になるよう、ITリテラシー向上教育や、DX人材育成講座などを推進します。

### 課題3 ステークホルダーとの調整・合意形成

- 物流業界は、多様なステークホルダーと関係しています。そのため、DXを推進する際には、ステークホルダーとの調整や合意形成が必要です。
- 具体的には、荷主、運送業者、倉庫業者、ITベンダーなどとの調整や合意形成をします。

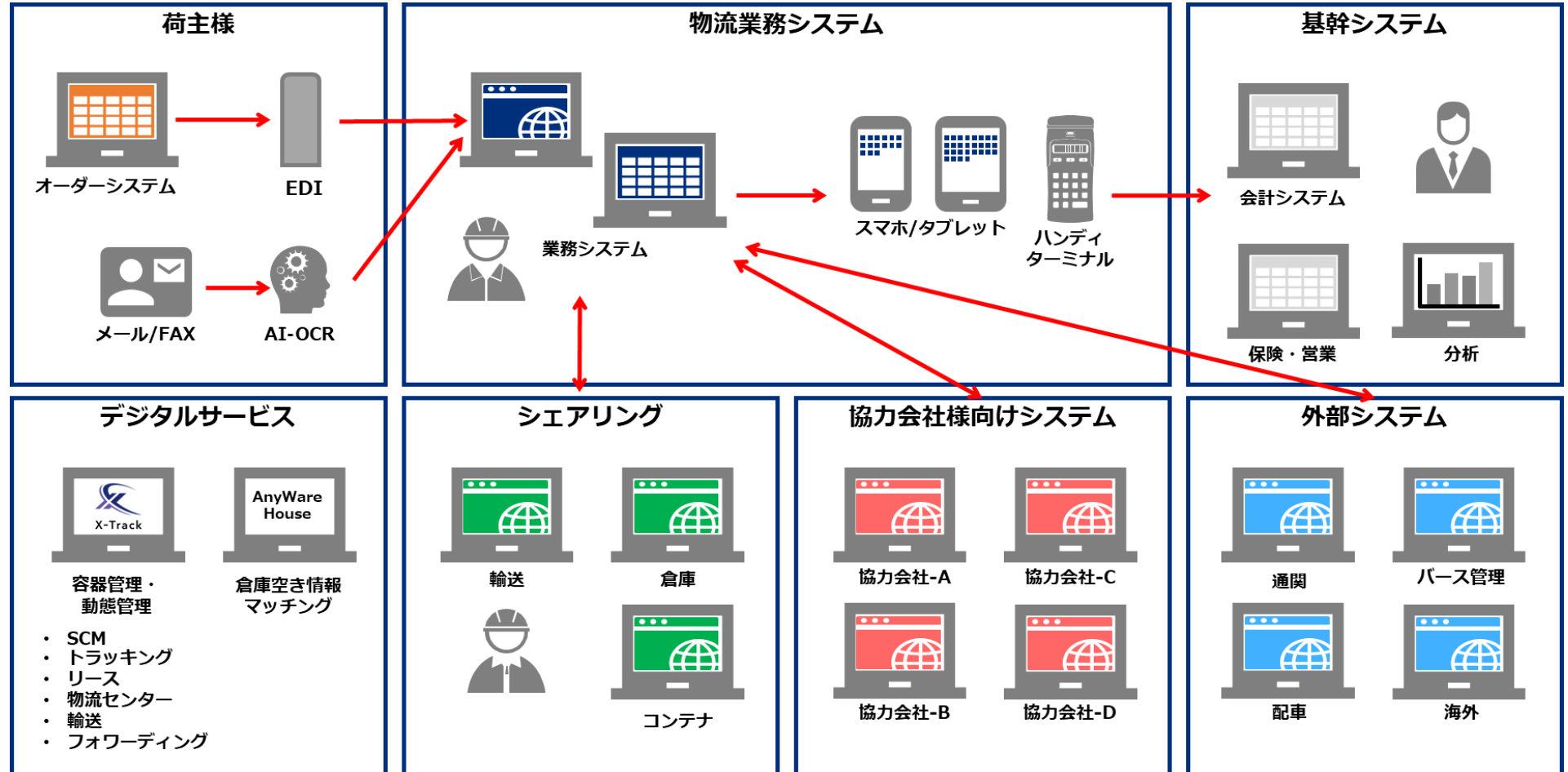
### 課題4 柔軟性と対応力

- 物流業界は、常に変化する環境に対応する必要があります。そのため、DXを推進する際には、柔軟性と対応力を備えることが重要です。
- 具体的には、新しい技術やサービスの導入、ビジネスモデルの変更などに対応します。

# DXの取り組み内容

## デジタル化の範囲と具体的な取り組み内容

- 当社では、「業務プロセスのデジタル化」、「データの活用」、「新しいビジネスモデルの創出」、「働き方改革を実現する」ために次の取り組みを実施します。

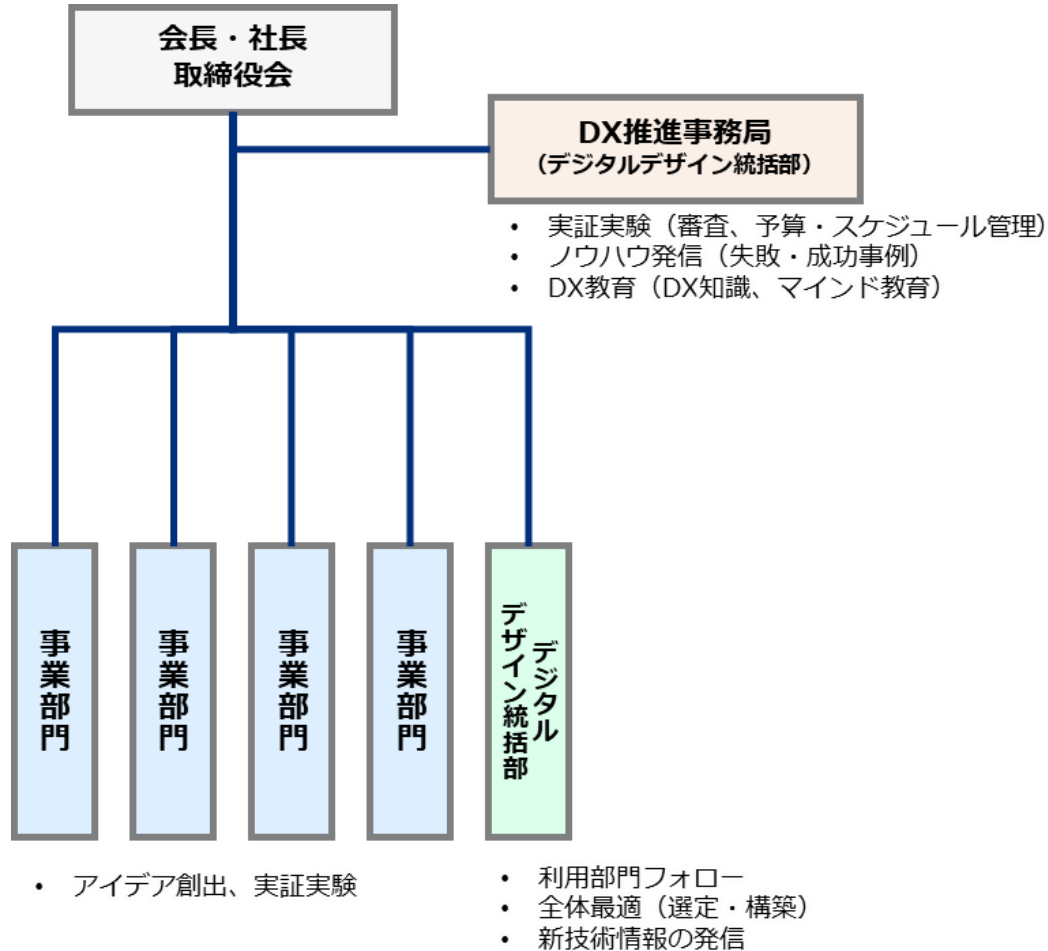




# 組織体制と人材

## DXプロジェクトの組織体制と役割分担

- DXプロジェクト推進を次の組織体制と役割分担で実施します。



### 会長・社長 (取締役会)

DXプロジェクトの目的・目標を明確にし、全社を挙げての取り組みを推進する必要があります。また、DXプロジェクトの成功に必要な人材・資金・技術などのリソースを確保し、プロジェクトの進捗状況を管理し、必要に応じて軌道修正を行う

### DX推進事務局 (デジタルデザイン統括部)

DXプロジェクトの企画・立案・実行・評価を担う組織

- 実証実験 (審査、予算・スケジュール管理)
- ノウハウ発信 (失敗・成功事例)
- DX教育 (DX知識、マインド教育)

### 事業部門 (ユーザー)

DXプロジェクトの成功に向けて、デジタルデザイン統括部と連携し、プロジェクトを推進する必要があります。、事業部門 (ユーザー) は、DXプロジェクトの成功に向けて、社員の意識改革を図り、デジタル技術を活用した新しいビジネスモデルの創出に貢献する

### デジタルデザイン統括部 (情報システム)

DXプロジェクトの成功に向けて、各事業部門と連携し、プロジェクトを推進する。また、DXプロジェクトの成功に向けて、社員の意識改革を図り、デジタル技術を活用した新しいビジネスモデルの創出に貢献する

# セキュリティとリスク管理

- データセキュリティ対策とプライバシー保護の取り組みとして、NRS株式会社では、**お客様のデータを安全に保護し、プライバシーを尊重する企業活動**として、以下の4つの取り組みを実施します。

## データセキュリティ対策の強化

- データの機密性、完全性、可用性を確保するためのセキュリティ対策を徹底します。アクセス制御やデータ暗号化、ファイアウォールの導入などの技術的な手段を活用し、データの保護を実現します。
- セキュリティインシデント発生時の迅速な対応体制を整備します。

## プライバシー保護のための取り組み

- 顧客情報や個人情報の取り扱いにおいては、法的要件や規制に厳密に従います。プライバシーポリシーの策定や従業員の教育を行い、個人情報の適切な管理と保護を実施します。顧客の信頼を維持し、プライバシーに対する配慮を徹底します。

## リスク管理体制の構築

- デジタル化に伴うリスクを適切に管理するため、リスク管理体制を構築します。リスクの特定と評価、適切な対策の実施、継続的なモニタリングを行い、早期のリスク対応と事業継続性を確保します。

## セキュリティ教育と意識向上

- 従業員に対してセキュリティ教育を実施し、情報セキュリティの重要性とベストプラクティスを啓発します。セキュリティ意識の向上を促し、組織全体でセキュリティに対する共通認識を醸成します。



Copyright (C) NRS CORPORATION. All rights reserved.